ねりまのリサイクル

練馬区では、容器包装プラスチック、古紙（新聞・雑誌・ダンボール・紙パックなど）、飲料用びん・缶・ペットボトル、使用済み食用油、古着・古布、乾電池、小型家電などを資源として回収しています。回収された資源はどのように再生利用されているのか？
今回は、紙パックと容器包装プラスチック、使用済み食用油の行方を追って、区内外にある中間処理施設と製紙工場を取材してきました。

資源の（基本的な）流れはこうなっている！

回収された資源は、中間処理施設へ運搬され、そこで再分別、圧縮梱包、原料化など、再生利用しやすい形に中間処理をされます。その後は、資源として取引され、メーカーによって商品の原料等に利用されます。

紙パックを追って沼津へ

ゆずりはリポーター 引地さん

沼津にある製紙工場に行ってきました。ここでは練馬区で回収されたほとんどの紙パックをはじめ、各地から運び込まれる古紙類を、トイレットペーパーやティッシュペーパーの原料パルプとして再生利用しています。今回の取材では、運び込まれた紙パックが実際に原料パルプとして利用され、商品化される工程を見させていただきました。
※紙パックとは牛乳やお酒、ジュース等の飲料に使用されているパックのことです。

回収された紙パック

溶剤で溶かされフィルムコートや不純物が取り除かれます

この巨大なロールからトイレットペーパーサイズにカットされます

再生品としてよみがえり、店頭に並びます

知ってた？ 紙パック6枚分でトイレットペーパー1ロール分に！

紙パックは、新聞、雑誌等の他の古紙と比べて繊維が長く、とても上質な再生パルプとしてリサイクルできる優れものです。
残念ながら日本全国の回収率は他の資源と比べると低く、約43%と半分以上は資源化されずに燃やされてしまっています。紙パックのリサイクルはまだまだこれからです。

出典：全国牛乳容器環境協議会
http://www.yokankyo.jp/index2.html

もったいないから、リサイクルしましょう！そしてリサイクルの輪を広げるために、再生品をすすんで購入することが大切です

ちなみに・・・・
●アルミ缶リサイクル率・・・・92.6%（22年度）
<アルミ缶リサイクル協会>
●ペットボトル回収率・・・・・・72.1%（22年度）
<PETボトルリサイクル推進協議会>
●スチール缶リサイクル率・・・89.4%（22年度）
<スチール缶リサイクル協会>

環境にやさしい商品マーク

牛乳パック再生品　古紙再生品　ペットボトル再生品　エコマーク

知っ得！ 粗大ごみの持ち込み

粗大ごみを申し込むと家の前まで回収にきてくれますが、直接資源循環センターに持ち込むこともできます。その場合、処理料金が3割から5割も安くなります。なかには自転車に乗ってきて「これ持ち込みだから」といって自転車を置いて、歩いて帰る人もいるそうです。※持ち込みには事前のお申込みが必要です。お申込みは粗大ごみ受付センターまで。
TEL：5296-7000

資源循環センターでは事前のお申込みで見学することもできます

練馬区のリサイクルの拠点 資源循環センター潜入レポート

谷原の交差点近くに構える資源循環センター。ここでは搬入された粗大ごみから、まだ使える家具類を修理し、その後、区内3か所のリサイクルセンターで販売しています。また、23区の自治体で初となる使用済み食用油からバイオ燃料の精製事業を開始したり、廃家電製品を分解して有用な金属類を回収し、それらを再資源化業者に売却しています。

使用済み食用油からバイオ燃料自家精製

年間20ｔ回収されます

135ℓの使用済み食用油から100ℓのバイオ燃料を精製

清掃車に給油
燃費はℓあたり3km

ゆずりはリポーター 塚越ご夫妻

センター職員 森田さん

粗大ごみで出される家電製品などを手作業で分解して鉄などの金属部分を回収しています。回収した金属は再資源化業者に引き渡し、資源として再利用しています。家電製品類から、コードや電子基盤、モーターなど、たくさんの資源が回収されます。
自転車は、タイヤを取り外し、他の部分は金属類として再資源化されます。資源の有効活用だけでなく、ごみの量の削減に貢献しています。

川越街道の鉄の達人を訪ねて

川越街道に面した、昔ながらのスクラップ屋さんといった風情を感じる金属リサイクル商店。ここでは水道の蛇口、サッシ、楽器などの金属を集め、種類ごとに分別して再利用業者に卸しています。春日町リサイクルセンターで回収している、なべ・やかんの行方を取材しました。

ゆずりはリポーター 大島さん

Q.家庭金物というとどういったものがリサイクルされるの？
A.飲料缶、それから、なべ・やかん・フライパンなどのいわゆるキッチンリサイクル。実はこれらに使われている金属は高度な技術で作られているとても上質なものです。
Q.集まった金属はどのようにリサイクルされるのですか？
A.金属別にインゴット状にします。それを再利用業者が加工して商品を作ります。ここではインゴットにしやすいように種類ごとに分けています。
Q.何種類くらいの金属があるんですか？
A.鉄、ステンレス、銅、アルミなどたくさんあります。一口にアルミと言っても色々な種類があります。
（虎の巻のリストを見せてくれた。そこにはびっしりとアルミの種類が書かれていた。）
Q.見分けるのが大変そうですね～？
A.最初は覚えるのが大変です。でも、この仕事を長くやっていると目利きができるようになります。
Q.今と昔でリサイクルに対する意識は？
A.資源への考え方がだいぶ変わってきました。資源を無駄にしないという考えが広く浸透してきているように感じます。

なべ・やかん・フライパン等の回収場所
区内3か所のリサイクルセンターで定期的に回収をしています。詳しくはお近くのリサイクルセンターまでお問合せ下さい。
（連絡先は裏面に記載）

なべ・やかん・飲料缶などは家庭にある高級資源

インゴットを持つ達人、鈴木さん

知ってた？ スゴイぞ！練馬区民の分別意識

現場を案内してくださった方によると、ほんの一部に分別しないで出している人たちはいるものの、練馬区民のほとんどの方は分別意識が高く、上質の資源として再生利用業者に卸すことが出来ているそうです。本年度の練馬区の容器包装プラスチックは、全てケミカルリサイクル（※）されています。科学的に処理された結果、炭酸やアンモニアなどが生成され、工業用原料として再利用されています。

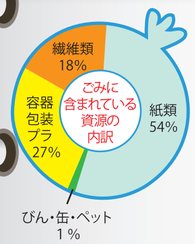
※再生利用のうち廃棄物等を製品の材料としてそのまま利用することをマテリアルリサイクル、科学的に処理して利用することをケミカルリサイクルといいます

容器包装プラスチックはいずこへ 新倉リサイクルセンター取材記

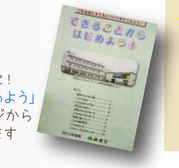
ゆずりはリポーター 佐藤さん

和光市の東京外環道近くにある、練馬区で回収された容器包装プラスチック資源の選別を一手に取り扱っている中間処理施設。ここでは、運ばれてきた袋を破袋機で破り、コンベアで流しながら容器包装プラスチック以外のものや、汚れのひどいものを取り除いて、250ｋｇほどの塊（ベール）に梱包して出荷しています。
圧巻は、流れるコンベアの両側に立つ20人近い作業員の方々の手さばき。資源として不適当なものを目にもとまらぬ速さで取り除いていきます。
異物で多いものは一般プラスチック、ペットボトル、ガラス瓶、アルミ缶やフライパンまで様々。特に困るものはガスの残ったライターや割れたガラスなどの危険物。火災や作業員の方の怪我の原因ともなります。また、マグネットなども機械の故障の原因になるので厳禁です。

18mのコンベアの両側からテキパキと分別する作業員の方々



練馬区の可燃ごみの約2割は間違って捨てられている資源です。グラフはごみに含まれている資源の内訳です。



リサイクルの参考に！「できることからはじめよう」練馬区のホームページからダウンロードできます

資源は正しく出すべし！

ゆずりはリポーター 安岡翁 の「喝！」

資源になるものが中間処理施設に多量に持ち込まれ、どのように処理されているのかその数量等をレポートすることは大事なことです。今回の取材では、現場で作業する方のお話から、資源は「正しく出す」ことの大切さを感じ取りました。出す人の意識が問われます。正しく出しましょう。

喝 【ペットボトル編】**ペットボトルはキャップを外して！**
中間処理施設ではペットボトルを圧縮して一包18kgほどのベールにします。キャップが付いたままだと圧縮できずに機械の故障の原因となるため、手作業で一つ一つ外しています。

喝 【びん編】**陶磁器は絶対に混ぜないで！**（その他化粧品のびんも混ぜてはいけません）
ガラスびんは、透明、茶色、その他に色分けされ、粉砕して問屋を経由してびんメーカーで再資源化されます。ただし陶磁器が混入していると資源として利用できないため、そのロット全量が返品されてしまいます。

喝 【使用済みの食用油】**回収するのは食用油だけ！**
中に醤油やドレッシングが混じっていると分けるのが大変です。また、出すときはペットボトルに移しかえ、きちんとキャップを締めないと輸送のときにこぼれてしまいます。

喝 【容器包装プラスチック】**分別する人のことも考えよう！**
中間処理施設では手作業で異物を取り除いています。作業する人の衛生、安全を考え、食べ残しの生ごみ、ガスの残ったライターや割れたガラスなどの危険物（※）は混ぜてはいけません！

※ガスの残ったライター、スプレー缶、カセット式ガスボンベは収集時の車両火災の原因となります。必ず使い切ってから、他の不燃ごみとは別の袋に入れて出してください。